

令和2年度 第1回飛騨市総合政策審議会 議事録

【日 時】 令和2年7月31日（金） 14時00分～17時45分

【場 所】 飛騨市役所 西庁舎3階 大会議室

【出席委員】 全委員18名中 出席委員16名

【執行部等】 都竹市長 湯之下副市長 沖畑教育長 森会計管理者 泉原総務部長
藤井市民福祉部長 大坪環境水道部長 青垣農林部長 清水商工観光部長
青木基盤整備部長 谷尻教育委員会事務局長 野村議会事務局長 佐藤病院管理室長
中畑消防長 野村河合振興事務所長 田之下宮川振興事務所長
森田神岡振興事務所長 横山建設課長 上畑財政課長（19名）

【事務局】 岡部企画部長 三井総合政策課長 土田係長 井口主査 柚原主任（5名）

【傍聴者】 5名

【会次第】

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 委員紹介
5. 会長・会長職務代理者の選出（飛騨市総合政策審議会設置条例第5条）
6. 会長挨拶
7. 協議事項
 - ① 主要施策の成果について …… 資料①
 - ② 飛騨市総合政策指針の改訂について …… 資料④
 - ③ 令和元年度地方創生関連交付金事業の効果検証について …… 資料⑤
 - ④ 新型コロナウイルス感染症に関する本市の対応状況について …… 資料②
 - ⑤ 今年度施策の状況と次年度の政策方針 …… 資料③
 - ⑥ 自由討議
8. その他
今後のスケジュール …… 資料⑥
9. 閉会

【議事内容】

1. 開会【岡部企画部長】

令和2年度第1回飛騨市総合政策審議会を開催する。

協議事項以外の部分は企画部長の岡部が進行を務める。

本日は2名のご都合により欠席であるが、委員18名中過半数の出席により、飛騨市総合政策審議会設置条例第6条の規定により定足数に達していることを報告する。

2. 委嘱状交付【岡部企画部長】

本来であれば、市長からお一人ずつに交付させていただくのが本意ではあるが、時間の関係上、机上への配布をもって交付にかえさせていただく。

3. 市長挨拶【都竹市長】

この審議会は、平成 29 年度からスタートし、今回は令和 2 年度の第 1 回。

それぞれの分野で活動されている皆様から様々なご意見を頂戴し市政に反映させるとともに、それぞれ意見交換をしていただくことがこの審議会の特徴。それぞれのお立場で参加いただいているが、市民としての普段からの思い等々含め活発なご議論をお願いしたい。

今年度から回数を増やし、各地区の区長様にもご参画いただき充実を図ったところ。

ここでの議論の中で、毎回多数のご意見を賜っており、その中から出来上がった政策も多数ある。その意味でも、政策立案の場という色彩が強く、それぞれの皆様の問題意識も共有していただきながら積極的なご提言をお願いしたい。

4. 委員紹介【岡部企画部長】

《省略》

5. 会長・会長職務代理者の選出【岡部企画部長】

《省略》

6. 会長挨拶【会長】

この総合政策審議会が出来た時から参画しており、市全体の政策に対し皆様の自由なご意見を出せる場として成り立っている。引き続き会長として皆様のご意見を聞きながら応援させていただけることに感謝している。

岐阜大学ではまちづくり、防災を専門としており、飛騨市とは 12 年ほど前から種蔵集落の支援に学生達と毎年通っており、2 年前に設立した「飛騨市ふるさと種蔵村」の副村長も務めている。飛騨市は自然、歴史、文化、伝統など素敵どころがたくさんある市である。

今回かなりの委員が交代されたことから最初は緊張されるかもしれないが、この場は何を言ってもいい場である。自由にご発言いただきたい。

7. 協議事項

司会【会長】

【会長】 協議事項①について、事務局の説明を求める。

【土田係長】 協議事項①について説明。(資料①-1、①-2、①-3)

【会長】 協議事項①について、ご意見ご質問をいただきたい。

- 【委員】 資料①のNo.26. 産業の人材確保対策について、神岡商工会議所でも外国人労働者の雇用に向けセミナーを開催してきた。また、女性の活躍の場所づくりとして今年セミナーを企画していたが、コロナの影響で中止した。
女性の力が必要だということは皆さんご承知のとおりであり、そういった政策の枠を一つ加えてもらうと良いのではないか。
- 【土田係長】 女性が働きやすい環境づくりは重要な政策分野である。
市では企業等が行う設備改修への補助金制度を設けており、昨年度も年度途中で補正予算を組むなど市内事業所に広く活用していただいている。
また、男女共同参画として、様々な場面で女性の活躍の場の拡大に取り組んでいく。
- 【会長】 協議事項②について、事務局の説明を求める。
- 【土田係長】 協議事項②について説明。(資料④)
- 【会長】 協議事項②について、ご意見ご質問をいただきたい。
- 【委員】 「飛騨高山大学(仮称)」とあるが、飛騨市に誘致するのであれば名称を変えてもらえないのか。
- 【都竹市長】 民設民営の事業であり、名称も含めて市は具体的な内容にタッチしないというスタンスである。
元々高山市での設立を検討されてきた経緯もあり、大学設立基金としてもこの名称でという意向がある。
金沢工業大学が野々市市に立地しているような例もあり、さほど違和感はないと考えている。
- 【会長】 協議事項③について、事務局の説明を求める。
- 【土田係長】 協議事項③について説明。(資料⑤)
- 【横山課長】 協議事項③について説明。(資料⑤-2)
- 【会長】 協議事項③について、ご意見ご質問をいただきたい。
- 【委員】 市道跡津川線は、一番奥までつながっているのか。
- 【横山課長】 市道跡津川線は県代行事業として整備に取り組んでいただいている。
現在までにスーパーカミオカンデ入口付近は概成し、新設するトンネル手前の橋梁工事に着手したところ。
次期計画では引き続きトンネル整備と概成区間の完成を目指す。
- 【委員】 市道は有峰湖までつながっているのか。

【横山課長】 市道は集落跡まで。以奥は民有林道となっている。

～ 休憩 ～

【会長】 会議を再開し、協議事項④について、事務局の説明を求める。

【岡部部長】 協議事項④について説明。(資料②)

【会長】 協議事項④について、ご意見ご質問をいただきたい。

【委員】 新型コロナウイルス感染者の病床数は飛騨圏域でどれくらいあるのか。

【藤井部長】 飛騨圏域で60床を確保しており、うち後方支援施設として高山市のホテル38床を含む。

【委員】 万が一、市内で感染者が確認された場合、医療費の支援や誹謗中傷に対する人権保護など、市の支援策を予め示しておくとのよいのではないか。

【都竹市長】 感染により働けなくなった方への市独自の傷病手当金制度を設けているが、基本的には病気の治療であり、保健所の差配のもと、適切な医療機関に入院し治療を受けてもらうことが最大の支援となる。

個人に対する誹謗中傷へのケアについては、感染者の個人名は公表されないため、支援制度を設けることにより感染者個人を特定することにつながるから難しい。

「悪いのはウイルスであり、どんなに対策をしても感染する可能性はある。感染してしまっても責められない。」というメッセージを出し続けることが、目下最大の対策と考えている。

今後もフェーズが変わるたびにこうしたメッセージを出し続けることが重要。

【会長】 協議事項⑤について、事務局の説明を求める。

【土田係長】 協議事項⑤について説明。(資料③)

協議事項⑤について、ご意見ご質問をいただきたい。

【委員】 今年度、来年度の防災士養成講座はどうなるのか。

【泉原部長】 防災士養成講座は昨年同様に開催する予定。今後も引き続き養成に取り組んでいきたい。

【会長】 防災士機構が、講座の対面での実施からオンラインも可能にしたと聞いた。検討されてはいかがか。

県は、リーダー講座は実施するが、防災士養成講座は中止された。

【都竹市長】 全ての事業について、基本的には実施できるようギリギリまで検討し、止む無く中止

にする場合も、単なる中止ではなく延期を前提に考えるスタンス。

来年から大勢の人を集めて実施する施策が難しいことを考えると、例えば防災士で言えば、どうやって知識を得てもらうのかという根本に立ち返り考えることが必要となる。

また、市政の分野の中でも防災・危機管理のように絶対に抑えておかないといけない分野については、今回の豪雨も飛騨市は紙一重であったことを考えると、今まで以上に新たな取り組みを付け加えるなど、メリハリを付けていく必要がある。

～ 休憩 ～

【会長】 会議を再開し、ここで委員の皆様から市に取り組んでほしい分野、事業、課題など、普段の生活でお困りのことも含め、お一人ずつご意見を頂戴したい。

【A委員】 河合地域の危険木について、電線等に木が覆いかぶさっており、かなりやっていたているが漏れているものもある。特に、稲越地区は湯峰トンネル付近から主要地方道沿いに電線が走っており、あの辺りを伐開してもらえるとありがたい。移住促進の取り組みは非常によい。移住者の考え方や地域の付き合いの中で地域にも刺激があり、こうした次の世代の移住者が増えるような施策を期待したい。

【B委員】 宮川地域の道路状況について、白線が消えたり草木が伸び見通しが悪いカーブなどがあった。振興事務所と一緒に古川土木事務所に要望するなど対応いただいたところ。宮川地域では空き家が増えている。壊したいが費用がかかることがあり難しい。市には空き家解体に対する補助などの対応をお願いしたい。

【C委員】 コロナ禍においてはインバウンドが見込めず、総合政策指針の終期である令和6年まで見通しが立たない中、宿泊施設を含めた市全体の施設等のグレードを上げる施策が必要ではないか。また、誘客は国内に移動が制限される中で、全国に向けたPRに対する支援などもあるとよい。

2点目は、区長の後継者がおらず、更には行政区を離れたがる人が多い。防災等の関係で区の意識を高め市民を説得しているが難しい状況。

今年の春にも1町内抜けられたが、強制力も無いことから止めることも出来ず、いざとなると見捨てざるを得ない。自治会に対する理解、協力体制をとってもらえる施策を検討いただきたい。

【D委員】 今年度重要なのは、1点目に新型コロナウイルス感染症対策と、それに関連した経済対策。2点目には災害対策である。

特に医療・介護施設はウイルスの持ち込み防止に大変な努力をされており、こうした対策への支援を検討していただきたい。また、体調が悪い職員には仕事を休んでもらっており、経産省の補助もあるが市でも検討いただきたいのと、残念ながら市内でも感染者が発生した場合には更なる対策・支援を検討いただきたい。

感染経路は、飛沫・接触感染と言われており、お喋りに気を付けることが重要。飲食店でも様々な対策を取っているが、アルコールが入ると逸脱する可能性が高く、注意喚起をお願いしたい。

また、他地区では高校での感染も見られており、中学校の対外との部活動は再検討されたほうが良い。

今回の豪雨による宮城橋上流護岸の被災箇所について、修復されているところだが、市からも強力に要望をお願いしたい。

【E委員】 介護保険が始まって20年経過。介護保険計画の見直しのたびに介護報酬が下がり厳しい状況。

その中で、社会福祉法人の経営感覚は一般企業ほど醸成されておらず、経営コンサルを依頼するにも費用が高い。こうした部分の支援を検討いただきたい。

介護施設の人手不足では、夜勤ができる正規職員の圧倒的な不足をカバーするため短時間パートを多く採用し、それが逆に人件費を圧迫している状況。このコロナ禍の中、都会へ出た若い方が戻ってきて雇用に繋がるような施策を検討いただきたい。

あわせて、ICTの活用もあるが、具体的に何をすればどういう効果があるのか研究していきたい。

災害時の福祉避難所としての対策も未熟なので、市と一緒に検討していきたい。

【F委員】 このコロナ禍で学校の授業も思うように出来ず、子ども達も伸び伸び生活出来ない姿を見る。多くの保護者も子ども自身も不安に思っている。体を動かす機会も減っており、外に出て遊ぶことに、どこまでが密でどこまでが大丈夫なのかがわからない。いつ感染者が出てもおかしくない状況で、子ども達が行動を制限された時にどう過ごしたらいいのかを子ども、親、地域の方にわかるようにしてもらえるとありがたい。情報発信については、市のCATVを活用したらどうか。普及率は不明だが、市長のFBくらいのスピード感で放送できたらよいと思う。同報無線が聞き取れなかったりネットが使えない高齢者も画面で見ることで情報が伝わると思う。

【G委員】 防災士会は、会員46名で昨年発足し現在会員募集中である。市の出先機関ではなく、目的は、防災・減災技術の向上、広報啓発、相互交流。

市では防災士の資格取得者の目標を400名とされているが、各行政区に数名配置したいという気持ちがある。

今後は避難所運営支援もしていきたいが、会員の中には消防団員も多く団員活動を優先されることから、更なる会員確保とスキル向上を目指していきたい。

避難所等での活動時に防災士会員と一目でわかるためのベストや帽子などがあつたらよいのではと思う。ご検討いただきたい。

【H委員】 コロナ禍での金融情勢では、幅広い事業者に影響が出ているが、市の資金対応はとても早く有効に利用できており、現在でも相談は多い。

現在では個人でも解雇や休業により住宅ローンの返済見直しの相談もある。来年の4月から返済が始まる方が多く、今後も長期に収束しない中で、いかに経済が回る仕組みを作るかをご検討いただければありがたい。

終活支援、相続についてだが、最近は亡くなられたらすぐ相続手続き始めるケースが多い。行政とも協力しながらアドバイスできるような施策が取ればありがたい。

空き家対策では、売買・賃貸の情報をネットに上げていただいているが、しばらく同じ物件の紹介ばかりが続いている。ご検討いただきたい。

【I 委員】 学校では先生方も様々な工夫をいただいているが、子ども達の学習の遅れが顕著に現れている。年度内に後れを取り戻すのが困難であれば、思い切って上の学年に持ち越す、受験範囲に入れないなどもご検討されたらどうか。

スポーツ・イベントに関して、保護者の意見は賛否様々あり、開催責任者が矢面に立たされる。あえて厳しいガイドラインでもよいので、業界ガイドラインに基づいた飛騨地域独自のガイドラインがあるとよい。

インバウンドが望めない状況で、登山、アウトドア、サイクリングなど飛騨市に有利なブームが来ていると感じる。新しい切り口、ヒントがあるのではと感じている。

【J 委員】 ICT教育について、学校では基本的なリテラシーを指導されており、環境面や教員の指導力などの課題はあるものの、ICT力を身につけるのは大事なこと。他方で、学校生活の中で教員や生徒同士が顔を合わせて学び合うことも大事で、すみ分け、ミックスが重要である。

今年度は3ヶ月のロスがあり、授業日数で言うと1/4を取り返す必要がある。どこの学校でもリモート授業に取り組み始めたが、学校内のICT環境が整ってなく課題が多いと聞いた。今後、災害などで登校できなくなってもリモート授業が成立するような環境整備が必要ではないか。

【K 委員】 移住定住促進事業について、県の補助事業が新設されたので、市でも活用してほしい。このコロナ禍は田舎にとってチャンスではないかと思っている。都会の大企業が新卒を控える傾向、更にテレワークの拡がりにより、都会の大きなオフィスを高く借りなくても地方の小さなオフィスで仕事ができることが実証されはじめており、地方に人材を集める絶好の機会である。今後も推進して行ってほしい。

「飛騨高山大学（仮称）」の立地は、もし実現したら、飛騨市活性化の大きな起爆剤になる。少子化により生徒募集は苦勞すると思うが、市も力を入れて財政調整基金の活用など検討されては。あわせて建築の際には地元産木材を使っていたきたい。

林業行政については、特に広葉樹のまちづくりに力を入れていただいております、非常に期待している。

【L 委員】 若い農家では冬場仕事としてキクラゲやイチゴの栽培などに挑戦し始めている。これまで同様こうした新たな取り組みに対する支援をお願いしたい。

耕作放棄地の増加について、河合の山間地域では、田や畑付近の樹木が大きくなることによる影の影響や獣害などで苦勞している現状。里山整備事業で切り開いているが、大きな樹木が多く追いついていない状態である。

山奥を活用した薬草や鮎、山と水の取り組みはとてもよい。是非進めていただきたい。古川の電線地中化は素晴らしいことだが、大災害時における復旧作業が困難と聞いた。そのあたりはどうか。

【M委員】 特産品の開発について、山之村スターコーンの収穫時期を早めるため、凍結解凍覚醒法の活用テストを始めた。成功すれば、飛騨市全域にも普及させていきたい。このテストは県内では岐阜地域と飛騨地域で検証している。

防犯灯について、市街地がどこも暗いイメージがある。電気代の懸念についてはソーラー式なども検討し、グレア規制にも配慮した対策を検討いただきたい。

公共トイレについて、特に神岡町市街地は比較的少ない。国道 41 号についても神岡町茂住地内の雪寒基地から古川の道の駅まで公共トイレが無い。国交省には要望しているが、市でも検討していただければ。

【N委員】 まちづくり関係で、一番よく相談を受けるのは情報・PRの部分。市は毎日FBやLINEで情報発信されており、非常にありがたい。

その中で、同じ市役所内でも知られていないこともあるなど、部署ごとの横のつながりにもどかしさを感じることもある。

また、市職員は様々な分野のプロと一緒に仕事をされることが多いと思うが、そのノウハウや人脈がイチ職員で止まっているように感じる。こうしたノウハウや人脈が市民にも広がればもっと良いものになる。関連して、観光、関係人口、移住定住などの事業はシームレスになるといいと思うが、それぞれが箱になったように分かれているように感じており、私自身も仕事に関わる関係で自分の課題と感じている。

小さなまちづくり応援事業は、活用をPRすることで良い活用事例集のようになっている。他の補助制度もこうした良い事例を発信されたらどうか。

【三井課長】 本日欠席のO委員よりご意見をお預かりしているので紹介する。

「雇用調整助成金を活用されていない製造業等が多いことから、行政として周知を図っていただくとともに、派遣職員の雇止めが発生しており、派遣元・派遣先が共に協力して対応いただけるような周知をお願いしたい。

コロナ禍におけるローン返済について、金融機関に相談することが先決だが、こうした破綻者が生まれないよう、市として考えていただきたい。

次年度の政策方針について、情報発信は様々な手法を用い緊急時を含め確実、迅速に伝わるような対応をお願いしたい」

【会長】 最後に市長からご意見いただく。

【都竹市長】 A委員の電柱電線の危険木の伐採については、県と市が電力会社に支援して伐採する

制度が終了していたところ、県に継続を要望し昨年度から再開している。この制度を活用して現在実施しており、更に進めていきたい。また、埼玉県の秩父市長が、森林環境譲与税を活用した支障木の伐採について、地元と協定を結んでスタートされた。当市でも林業振興課で研究を始めたところ。

移住定住については、今年度も昨年度と比較し順調に推移しており、色んな移住関係雑誌に載るよう情報発信を強化している。

B委員の空き家取り壊しの支援についてだが、なかなか踏み切れず、現在は空き家の流通に力を入れており、市の「住むとこネット」に登録してもらっている。また、不動産業者が改修し賃貸される際に補助金で支援するなどしている。それでも動かない地域は、今後も検討を重ねていくが、大変苦慮している。

C委員の観光戦略については、言われるとおりにインバウンドは2・3年期待できない。国内の良質な客に訴えかけられるような魅力作りをやる期間だと認識している。来年度の施策では、まさしくコロナに合わせた次へのまちづくりである。

行政区の問題については、メリットだけ訴えかけるわけにもいかず災害時の共助を訴えかけていくしかないが、手法は考えていきたい。

D委員のコロナ対策については、F委員からのご意見とも関連するが、「3密」の正しい情報が伝わっていないことから、情報周知が必要である。例えば、首都圏の電車など、黙って乗車しているから密でも感染リスクが低い。昨日発出した市長メッセージでも、口から出る唾の行方を注意するように伝えており、今後もわかりやすい伝え方を工夫する。

宮城橋上流護岸の被災箇所のは、作業着手の段取りになっており、護岸そのものに影響がないことは確認している。

E委員のパートによる人件費圧迫については、今まで語られてない新たな視点。引き続き人材確保には取り組んでいきたい。

福祉避難所については、施設職員にスキル・知識を高めてもらいたいと思っており、防災士資格の取得など呼び掛けさせていただきたい。

F委員の密については、何が危険なのかわかりやすく伝える方法が今後更に大事になる。工夫していきたい。

CATVについては、市内で視聴できる世帯は3割程度と少なく、必ずしも頼ることが出来ない。ありとあらゆる手段を使うというのが今の方針。新しい情報発信の手法も検討しているところであり、実現できるかどうかも含め研究していく。

G委員の防災士のベスト等については、早速考えさせていただく。まずは防災士の数を増やすことが重要である。私自身も資格を取得し非常に勉強になった。大勢の方に取得していただきたいと考えている。

H委員の住宅ローン返済相談については、世帯収入が比較的多い世帯の多重債務という問題を重視しており、元をたどると住宅ローンが原因であることがわかっている。ここは研究している最中で、何かしらの手を打っていきたいと考えている。

相続の話は、終活支援センターとの連携をぜひお願いしたい。

I委員のオンライン授業の為のインフラ整備については、まだまだ不十分ではあるが、学校のみならず家庭のインフラの問題もあることから、そこが次の課題。まずは学校内の環境整備に力を入れていきたい。

【沖畑教育長】 D委員の部活動についてのご心配だが、マスクを取る場合は身体的距離を確保するように徹底している。他市の事例でも子ども同士の感染は確認されていないことから、競技以外での教員指導時について特に注意している。

8月1日から4日まで、飛騨地域3市1村の中学生交流大会を開催する予定。中体連が中止になったことから開催するもの。競技者、審判以外はベンチでもマスクをするなど感染防止対策を徹底した上で、試合数を少なくしたり、観戦者数を制限するなどして実施する。今後の部活動については、遠くへの遠征は控えているところであり、検討を重ねていく。

F委員からのご意見で、外で遊ぶ子ども達への対応だが、子ども達には、なぜ危ないのか、どうしたら安全なのかということをも自分達で考え判断できるように指導している。ご家庭でも叱るのではなく、それは問題ないのかどうなのかを優しく問いかけてあげてほしい。

I委員からの学習の遅れについて、授業数は夏休みを短縮しても以前と同じ時間は確保できない。しかし、これまでは余裕を持った授業数にしていたこともあり、例えば、これまで復習の時間としていたものを家庭学習にまわすなど、授業と家庭学習のすみ分けをしている。

また、学習指導も、「知識を教える」ということから「どういう資質・能力を身に付けさせるか」ということになってきており、授業内容によってメリハリを付けた学び方ができるようになったことから、新しいカリキュラムを作っているところ。

今後どうしても授業数が足りない場合は、次学年に送ることも検討するよう文科省から言われているが、小6と中3はオンラインを活用し、なんとか年度内に授業を終えられるよう検討している。

小6と中3の児童生徒分のタブレットは確保できるし、家庭にネットワーク環境が無い場合は、近くで環境が整っている施設を活用し密にならないように授業をするなど工夫していきたい。

J委員のICT教育については、ネットワークと端末を整備中である。今年度中には学校側の整備を終える。子ども達のスキルやモラル教育も進めるとともに、教員の研修も同時に進めていく。

学校運営協議会については、今年度から立上げ、学校と保護者と地域が一体となって子ども達を育成する当事者となり実施していくもの。

その中では、学校の消毒作業や登校時の検温・消毒に対する支援、学校休業中における授業用の動画撮影などのご協力をいただいている。

【都竹市長】 K委員の「飛騨高山大学（仮称）」については、飛騨市に大きなインパクトを与えるものと考えており、民設民営ではあるが、市としても実現に向け国への働きかけなどの支援を行う。地元が連携しているということが一番の強みになると伺っており、そうした姿勢の中で向かっていきたい。

広葉樹のまちづくりでは引き続きお世話になるが、よろしくお願ひしたい。

L委員の新しい品目については、ぜひ色々な工夫を行っていただきたい。市も全面的に様々な支援をしていく。

耕作放棄地については、常に検討をしているが、何かの種火があるものを大きく広げていく方がよいと考えており、つい先日も河合の食用バラの取り組みに参加したが、これを広げていけないかと考えており、今は季古里でメニュー開発もやっている。他には、中山間農業試験場と協力しメナモミヤクズなど薬草の栽培研究を始めたところ。こうしたものも進めていきたい。

電線の地中化については、災害時には地中化していた方が基本的に安全と言われている。東京都知事も地中化を推進されているのは、災害対策として安全だからという考えからである。

M委員からの凍結解凍覚醒法については、大いに取り組んでみえるかと聞いている。今後の展開に興味を持っており、またお聞かせいただきたい。

トイレについては、確かに国道41号のトイレが少ないが、トイレの適地と駐車場が必要であることから、高山国道事務所ともよく相談していきたい。

街灯については、新規設置やLEDへの変更の補助など、これまでの補助制度を見直し充実させているが、またご相談いただければ。

N委員の市役所内の情報共有について、確かに共有されていないことはあるが、非常に難しい。外に対し市政を発信することにより職員も目にすることもあるので、外への情報発信の強化により中への情報共有を行うという考えでやっていきたい。

小さなまちづくり応援事業は、補助金の使い方の事例になっているということは、いいご指摘である。こうした切り口でも色々広げていきたい。

O委員の雇用調整助成金の活用については、確かに使われていない事業者があり、高山市よりも飛騨市の活用が低い。7月補正予算で社会保険労務士の相談体制と費用支援制度を創設しており周知していきたい。

ローンの件は、H委員にお答えしたとおりだが、このコロナ禍では今後更に苦しい家庭が出てくると考えている。十分注視していきたい。

【高木会長】 今回もそれぞれ専門のお立場、また、一市民としての率直なご意見をいただき、参考となるものが多く、今後の市の政策に反映されていくものと思う。

この総合政策審議会は、昨年度の政策を紹介しご意見をいただき、来年度の政策をお示しして皆さんの意見を聞いていくという循環をしているが、他の市町村では例がなく、こんなにも開けた政策の立案の仕方は全国的にもない。

ここまで市民に寄り添った細かい政策が出来るのは、現場の声もそうだが、こうした

場があることも大きい。そういう意味では今回も色んな意見が聞け、来年度の政策の為にもなったと感じている。

コロナ関連の意見が多く出たが、飛騨市は対策の取り掛かりが早く、先進的で社会でも良い評価をされている。そんな飛騨市をより自慢してほしい。

来年度の政策方針をこの時期にこうした形で打ち出していくことは素晴らしい姿勢。ピンチをチャンスに変える、今ある状況下でベストを尽くすということの現れ。

引き続き皆さんの力でよりよい飛騨市になっていくといいと思う。

8. その他【土田係長】

今後のスケジュールについて説明。（資料⑥）

9. 閉会【湯之下副市長】

委員の皆様には貴重な意見を頂戴し感謝申し上げます。

横断歩道での死亡事故が過去5年間で4,300件ほど起きている。また、信号機の無い交差点での一時停止の割合が昨年のJAFの調査では、全国平均で17%。一番高いのが長野県で68%、一番低いのが三重県で3.4%。なぜ近い県でこのように差があるのかを考えたとき、同じ飛騨市内においてもこうした差があることは良くないと思う中で、本日お集まりの各分野、各地域でご活躍の皆様のご意見を頂戴することは、私たちにとって非常に貴重である。

会議のみならずお気づきの点があればいつでもお伝えいただくことをお願いし、本日の会議を閉会する。